

# APL 初発・進行期 APL97 consolidation 3

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 21日~

目標: 1コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤: イダルビシン (IDR) : イダルビシン注 5mg/V

シタラビン (Ara-C) : シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

※ Hbc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

※ APL97 Inductionで寛解を確認した後、出来るだけ早期に開始。

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
イダルビシン	12 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~3
シタラビン	140 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1) : 1月1日 (金) ~ 1月3日 (日)

PICC① PICC②

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A

15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL + イダルビシン注 0mg + 注射用水 20mL (溶解用)

30分で点滴静注

0時45分 ③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

1時00分 ④ 生理食塩液 500mL + シタラビン注 0mg

24時間で点滴静注

0.0ml

Day 4~5 1月4日 (月) ~ 1月5日 (火)

0時45分 ① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A

15分で点滴静注

1時00分 ② 生理食塩液 500mL + シタラビン注 0mg

24時間で点滴静注

0.0ml

Day 6 1月6日 (水)

1時00分 ① 生理食塩液 50mL

フラッシュ

## REFERENCE

Norio Asou, yuji Kishimoto, Hitoshi Kiyoi, et al BLOOD 2007 ; 110 : 59-66

A randomized study with or without intensified maintenance chemotherapy in patients with acute promyelocytic leukemia who have become negative for PML-RAR $\alpha$  transcript after consolidation therapy: The Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG) APL97 study

2011年化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2011年5月9日 更新: 2016年2月8日